



敬老の日にあたり、リハビリの先生から利用者さんへのメッセージです。

みわでリハビリさせて頂いていると、利用者様との会話がとても楽しく毎日が感謝の連続です。私よりも何倍もの人生の先輩(利用者様)。皆さまから美味しいおかずの作り方、生活の知恵、悲惨な戦争の話を教わったり、時には私の健康を気遣ってくださったり、長年連れ添ったご夫婦の姿に惚れ惚れしたり等、たくさんの宝物をいただいています。今後も利用者様一人ひとりの歴史を重んじて毎日のリハビリに活用出来るお手伝いが出来ればと思います。

森本先生

私はいつもせかせかとしていて、みなさんとゆっくりお話を出来る機会が少ないと思います。そんな中、みなさんのお顔を拝見できることが私の一番の楽しみとなっています。笑顔の時はもちろんのこと、少し調子が悪そうな日も「しんどい中来てくださったんだなあ」と思うと胸が熱くなります。これからも、どんなときも、デイケアでのひとときを一緒に過ごしましょう(^-^)

恵先生

心が動けば身体も動く！

あるお経に言施(思いやりのある暖かい言葉)、和顔施(柔和な笑顔)、心施(思いやりの心で接する)などの教えがあります。

リハの立場から言うと脳には、合理的という「口に出したことを正当化する仕組み」があり、「ありがとう」、「いいね」、「嬉しい」などの前向きな心のこもった言葉がかけ前向きに、さらに脳にはミラーニューロンという鏡のような神経細胞があり、相手が笑顔だと自分も楽しい気持ちになり笑顔になります。その事で心がほだけて、前向きに動きだし、身体が軽やかに動きだすのです。さあ、一緒に楽しみましょう！

藤田先生

敬老会をしました

感謝状をお渡しし、スタッフの隠し芸を披露しました。

